

HP Service Manager Software

サポート対象のWindows®およびUnix®オペレーティングシステム向け

ソフトウェアバージョン : 7.10

Language Pack インストールガイド

ドキュメントリリース日 : 2008年12月

ソフトウェアリリース日 : 2008年12月

最終更新日 : 2009年1月22日



ご利用条件

保証

HP 製品およびサービスの保証は、各製品およびサービスに添付された保証書に記載の明示保証のみとなります。本書のいかなる内容も当該保証に新たに保証を追加するものではありません。HP は、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して責任を負いかねます。

本文書に記載の事項は、予告なく変更されることがあります。

限定保証条項

機密コンピュータソフトウェア。所有、使用、コピーには、HP による有効なライセンスが必要です。FAR 12.211 および 12.212 準拠。商用コンピュータソフトウェア、コンピュータソフトウェアマニュアル、技術データは、ベンダの標準商用ライセンスに基づき、米国政府にライセンス供与されています。

著作権

© Copyright 1994-2008, Hewlett-Packard Development Company, L.P.

本製品には、Eric Young (eay@cryptsoft.com) が作成した暗号ソフトウェアが含まれています。本製品には、Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com) が作成したソフトウェアが含まれています。Smack ソフトウェア copyright © Jive Software, 1998-2004。SVG Viewer, Mozilla JavaScript-C (SpiderMonkey)、および Rhino ソフトウェア Copyright © 1998-2004 The Mozilla Organization。本製品には、OpenSSL ツールキットで使用するため OpenSSL Project が開発したソフトウェアが含まれています。(http://www.openssl.org)。OpenSSL ソフトウェア copyright 1998-2005 The OpenSSL Project. All rights reserved. 本製品には、MX4J project (http://mx4j.sourceforge.net) が開発したソフトウェアが含まれています。MX4J ソフトウェア copyright © 2001-2004 MX4J Team. All rights reserved. JFreeChart ソフトウェア © 2000-2004, Object Refinery Limited. All rights reserved. JDOM ソフトウェア copyright © 2000 Brett McLaughlin, Jason Hunter. All rights reserved. LDAP、OpenLDAP、Netscape Directory SDK Copyright © 1995-2004 Sun Microsystems, Inc.。Japanese Morphological Analyzer © 2004 Basis Technology Corp.。Sentry Spelling-Checker Engine Copyright © 2000 Wintertree Software Inc.。Spell Checker copyright © 1995-2004 Wintertree Software Inc.。CoolMenu ソフトウェア copyright © 2001 Thomas Brattli. All rights reserved. Coroutine Software for Java は Neva Object Technology, Inc. が所有しており、米国および国際著作権法で保護されています。Crystal Reports Pro および Crystal RTE ソフトウェア © 2001 Crystal Decisions, Inc., All rights reserved. Eclipse ソフトウェア © Copyright 2000, 2004 IBM Corporation およびその他。All rights reserved. Copyright 2001-2004 Kiran Kaja and Robert A. van Engelen, Genivia Inc. All rights reserved. Xtree copyright 2004 Emil A. Eklund。本製品には、インディアナ大学 Extreme!Lab (<http://www.extreme.indiana.edu/>) が開発したソフトウェアが含まれています。Portions copyright © Daniel G. Hyans, 1998. cbg.editor Eclipse plugin copyright © 2002, Chris Grindstaff。本製品に組み込まれたソフトウェアの一部は gSOAP ソフトウェアです。gSOAP が作成した部分は、copyright © 2001-2004 Robert A. van Engelen, Genivia Inc です。All Rights Reserved. Copyright © 1991-2005 Unicode, Inc. All rights reserved. http://www.unicode.org/copyright.html の利用規約の下で配布されます。

商標

Java™ およびすべての Java 関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。

Microsoft® および Windows® は、Microsoft Corporation の米国における登録商標です。

Oracle® は、Oracle Corporation (カリフォルニア州レッドウッド市) の米国における登録商標です。

UNIX® は、The Open Group の登録商標です。

ドキュメントの更新

本ドキュメントのタイトルページには、次の識別情報が含まれます。

- ソフトウェアバージョン番号。ソフトウェアバージョンを示します。
- ドキュメントのリリース日。ドキュメントが更新されるたびに変更されます。
- ソフトウェアのリリース日。このバージョンのソフトウェアのリリース日を示します。

最新の更新について確認する場合や、最新版ドキュメントを使用していることを確認する場合は、次のサイトを参照してください。

<http://h20230.www2.hp.com/selfsolve/manuals>

このサイトを利用するには、HP Passport に登録した上でサインインする必要があります。HP Passport ID は、次の URL でご登録いただけます。

<http://h20229.www2.hp.com/passport-registration.html>

または、[HP Passport ログイン] ページの [新規ユーザの登録] リンクをクリックしてください。

該当製品のサポートサービスを受けている場合は、更新版または最新版ドキュメントも入手することができます。詳細については、お近くの HP 営業窓口までご連絡ください。

サポート

次のHP Softwareサポート Webサイトを参照してください。

www.hp.com/go/hpssoftwaresupport

このWebサイトには、連絡先の情報をはじめ、HP Softwareの提供する製品、サービス、サポートに関する詳細な情報が記載されています。

HP Software オンラインサポートには、お客様によるセルフソルブ機能があります。業務の管理に必要な対話型の技術支援ツールにすばやく効率的にアクセスすることができます。サポートカスタマのお客様は、サポートWebサイトで次のサービスをご利用いただけます。

- 必要なナレッジドキュメントの検索
- サポートケースやエンハンスメント要求の提出およびトラッキング
- ソフトウェアパッチのダウンロード
- サポート契約の管理
- HPサポート連絡先の検索
- 利用可能なサービスに関する情報の確認
- 他のソフトウェアカスタマとのディスカッションへの参加
- ソフトウェアトレーニングの調査および登録

ほとんどの場合、サポートを受けるには、HP Passport ユーザとして登録した上でサインインする必要があります。また多くの場合、サポート契約も必要となります。HP Passport IDは、次のURLでご登録いただけます。

<http://h20229.www2.hp.com/passport-registration.html>

アクセスレベルの詳細については、次のサイトを参照してください。

http://h20230.www2.hp.com/new_access_levels.jsp

目次

1	Language Packのインストール	7
	Language Packのインストールのチェックリスト	8
	サーバのLanguage Packのインストール	10
	Windowsのインストール要件	10
	Unixのインストール要件	10
	Service ManagerサーバのLanguage Packのセットアップ	11
	ローカライズ版ヘルプサーバのインストール	13
	インストールの要件	14
	ヘルプサーバのLanguage Packのセットアップ	15
	索引	17

1 Language Packのインストール

本章では、HP Service ManagerのLanguage Packコンポーネントのインストールの要件と手順について説明します。本章の内容は次のとおりです。

- 8ページの「Language Packのインストールのチェックリスト」
- 10ページの「サーバのLanguage Packのインストール」
- 13ページの「ローカライズ版ヘルプサーバのインストール」

Language Packのインストールのチェックリスト

次の手順に従って、HP Service ManagerのLanguage Packをインストールします。

タスク1: まだインストールしていない場合、Service ManagerのインストールDVDから次のコンポーネントをインストールします。

- Service Managerサーバ
- ヘルプサーバ（英語版ヘルプサーバが必要な場合）

これらのコンポーネントのインストール手順については、Language PackのインストールCDに収録された、各言語版『*HP Service Manager 7.10 インストールガイド*』を参照してください。

タスク2: Service Managerのアプリケーションデータをバックアップします。

タスク3: Service ManagerサーバのLanguage Packをインストールします。



各言語には専用のインストールCDがあります。複数のLanguage Packをインストールするには、各言語のインストールCDが必要です。

10ページの「サーバのLanguage Packのインストール」を参照してください。

タスク4: スプラッシュ画面の変更、カスタム画像の追加、会社ブランド設定の追加、デフォルト設定および接続の保存、ヘルプサーバまたは更新サイトへの接続の設定など、Windowsクライアントのカスタマイズを行う場合。

英語版のインストールCDからクライアント構成ユーティリティをインストールします。クライアント構成ユーティリティの使用手順については、Language PackインストールCDに収録された『*HP Service Manager 7.10 インストールガイド*』の日本語版を参照してください。



すでに英語版リリースでクライアント構成ユーティリティをインストールしている場合は、あらためてインストールする必要はありません。

タスク5: クライアント構成ユーティリティを開いて、多言語版Windowsクライアントに追加する設定をカスタマイズします。

タスク6: カスタマイズおよびローカライズが完了したWindowsクライアントのインストーラを開発環境に配置します。

タスク7: オンラインヘルプを中央のヘルプサーバから提供する場合。

サポートする言語用のローカライズ版ヘルプサーバをインストールします。13ページの「ローカライズ版ヘルプサーバのインストール」を参照してください。

サーバの Language Pack のインストール

サーバの Language Pack は、Service Manager サーバをインストールしたシステムと同じシステムにインストールする必要があります。1つの Service Manager サーバに複数の言語をインストールすることができます。これにより、Service Manager のアプリケーションフォームで表示する言語をユーザが選択できるようになります。



サーバは、ユーザが選択した言語で Service Manager のアプリケーションフォームを表示しますが、クライアントのメニューの表示言語は、クライアントのオペレーティングシステムの言語によって決まります。例えば、英語版オペレーティングシステム上で実行している Windows クライアントでは、アプリケーションフォームが日本語で表示されている場合でも、メニューは英語で表示されます。

Service Manager サーバの Language Pack は、Windows システムまたは Unix システムにインストールすることができます。

Service Manager サーバの Language Pack を Windows システムにインストールするには、10 ページの「[Windows のインストール要件](#)」を参照してください。

Service Manager サーバの Language Pack を Unix システムにインストールするには、10 ページの「[Unix のインストール要件](#)」を参照してください。

Windows のインストール要件

- 互換性のある Windows オペレーティングシステム (Service Manager 互換性一覧表を参照してください)
 - 最新の Windows Update をインストールする
 - Windows 版 Language Pack をインストールする
- 既存の Service Manager サーバインストール (英語)
 - アプリケーションデータのバックアップ
- インストールする Language Pack ごとに 50MB のディスク容量

Unix のインストール要件

- 互換性のある Unix プラットフォーム (Service Manager 互換性一覧表を参照してください)
 - 最新の Unix プラットフォームアップデートをインストールする
 - Unix 版 Language Pack をインストールする

- 既存の Service Manager サーバインストール（英語）
 - アプリケーションデータのバックアップ
- インストールする1言語ごとに50MBの空き容量

Service Manager サーバの Language Pack のセットアップ

次の手順に従って、Service Manager サーバの Language Pack をインストールします。

- 1 Language Pack をインストールする前に、Service Manager サーバが起動することと、ログオンできることを確認しておきます。
 - a Service Manager インストールの所有ユーザアカウントで Service Manager サーバにログオンします。
 - ▶ このユーザアカウントは、Service Manager サーバのインストール用に作成したアカウントと同じでなければなりません。
 - b Service Manager サーバを停止します。

- 2 HP Service ManagerのLanguage PackのインストールCD-ROMをサーバの適切なドライブに挿入し、使用オペレーティングシステムに対応した実行可能スクリプトを実行します。

▶ **Windows** : インストール先 Windows システムの自動実行が有効になっていれば、CDブラウザが自動的に起動します。

自動実行が無効になっている場合、次のいずれかの方法でCDブラウザを手動で起動します。

- Windowsのエクスプローラを使ってCD-ROMディレクトリへ移動します。

D:LanguagePack

ここで、DはCD-ROMドライブを表します。実際のCD-ROMドライブ名を入力してください。

- setupwin32.exeをダブルクリックします。

- Windowsのコマンドプロンプトからセットアップを起動します。次のコマンドを入力します。

```
D:  
setupwin32.exe
```

ここで、DはCD-ROMドライブを表します。実際のCD-ROMドライブ名を入力してください。

▶ オペレーティングシステムごとに、次の実行可能スクリプトも用意されています。


- **AIX** : setupaix
- **Solaris** : setupSolaris.bin
- **Linux** : setupLinuxX86.bin
- **PA-RISCシステム上のHP-UX** : setupHP11.bin
- **Itaniumシステム上のHP-UX** : setupHPIA64.bin

- 3 Service ManagerのLanguage Packのインストール画面が開きます。

▶ Language Packのインストール手順は、インストールするLanguage Packと同じ言語で表示されます。


- 4 [HP Service Managerサーバの日本語版Language Packのインストール]をクリックします。

- 5 インストールウィザードの表示言語を選択する画面がインストーラに表示されます。ウィザードの表示言語を選択して、[OK] をクリックします。選択した言語でインストーラが作成され、インストーラの [ようこそ] ページが開きます。
- 6 [次へ] をクリックして、ライセンス契約を読んだ上で同意します。
- 7 [使用条件の条項に同意します] オプションを選択します。[次へ] ボタンがアクティブになります。
- 8 [次へ] をクリックして、インストール先フォルダを選択します。インストール先フォルダを指定するページが開きます。
- 9 Service Manager サーバをインストールしたパスを選択します。

 Language Pack は Service Manager サーバをインストールしたディレクトリにインストールする必要があります。

- 10 [次へ] をクリックして、インストールプロセスを準備します。プログラムのインストール準備が完了したことを示すページが開きます。
- 11 [インストール] をクリックすると、インストールファイルのコピーが開始されます。([キャンセル] をクリックすると、インストールを中止できます。)

セットアップウィザードが、Language Pack のアンロードファイルを Service Manager サーバに自動的に適用します。


 システムの性能によっては、アンロードの適用処理に 20 分以上かかる場合があります。

インストールが完了すると、正常にインストールされたことを示すページが開きます。

- 12 [終了] をクリックして、セットアップウィザードを終了します。
- 13 Service Manager サーバを再起動します。Service Manager 内で、サポート言語レコードが期限切れになってリセットされるまで、最大 1 分かかることがあります。サーバの Language Pack は、このレコードのリセット後に有効になります。

ローカライズ版ヘルプサーバのインストール

ローカライズ版ヘルプサーバは、それぞれ別々のサーバインストールとなります。複数のヘルプサーバをインストールすることで複数の言語をサポートできますが、各ヘルプサーバはそれぞれ別のフォルダにインストールし、固有の通信ポートを設定する必要があります。

 ローカライズ版ヘルプサーバは、既存の英語版ヘルプサーバと同じフォルダにインストールすることはできません。新しいインストールフォルダを選択するか、英語版ヘルプサーバをアンインストールします。

▶ 次の言語のヘルプサーバは用意されていません。

- ポルトガル語 (ブラジル)
- チェコ語
- オランダ語
- ハンガリー語
- ポーランド語


インストールの要件

- 互換性のある Windows オペレーティングシステム (Service Manager 互換性一覧表を参照してください)
 - 最新の Windows Update をインストールする
 - Windows 版 Language Pack をインストールする
 - 地域設定で、言語を Language Pack のインストール手順で使用する言語に設定する
- Sun の Java Runtime Environment (JRE) のマルチリンガル版
- 220MB の空き容量

ヘルプサーバの Language Pack のセットアップ

次の手順に従って、ヘルプサーバの Language Pack をインストールします。

- 1 Windows サーバにローカル管理者権限を持つユーザとしてログインします。
- 2 HP Service Manager の Language Pack のインストール CD-ROM を、サーバの適切なドライブに挿入します。

 インストール先 Windows システムの自動実行が有効になっていれば、CD ブラウザが自動的に起動します。自動実行が無効になっている場合、次のいずれかの方法で CD ブラウザを手動で起動します。

- Windows のエクスプローラを使って CD-ROM ディレクトリへ移動します。

D:\HelpServer

ここで、D は CD-ROM ドライブを表します。実際の CD-ROM ドライブ名を入力してください。

— setupwin32.exe をダブルクリックします。

— Windows のコマンドプロンプトからセットアップを起動します。次のコマンドを入力します。

```
D:  
setupwin32.exe
```

ここで、D は CD-ROM ドライブを表します。実際の CD-ROM ドライブ名を入力してください。

- 3 Service Manager の Language Pack のスプラッシュ画面が開きます。Language Pack のスプラッシュ画面では、インストールする Language Pack と同じ言語でインストール手順が表示されます。
- 4 **[HP Service Manager ヘルプサーバの日本語版のインストール]** をクリックします。
- 5 インストールウィザードの表示言語を選択する画面がインストーラに表示されます。ウィザードの表示言語を選択して、**[OK]** をクリックします。選択した言語でインストーラが作成され、インストーラの **[ようこそ]** ページが開きます。
- 6 **[次へ]** をクリックして、ライセンス契約を読んだ上で同意します。
- 7 **[使用条件の条項に同意します]** オプションを選択します。

[次へ] ボタンがアクティブになります。

- 8 [次へ] をクリックして、インストール先フォルダを選択します。インストール先フォルダを指定するページが開きます。
- 9 [参照] をクリックして、Service ManagerヘルプサーバのLanguage Packをインストールするパスを入力または選択します。



ローカライズ版ヘルプサーバは、既存の英語版インストールと同じディレクトリにインストールすることはできません。

- 10 [次へ] をクリックして、インストールプロセスを準備します。プログラムのインストール準備が完了したことを示すページが開きます。
- 11 [インストール] をクリックすると、インストールファイルのコピーが開始されます。([キャンセル] をクリックすると、インストールを中止できます。)

インストールが完了すると、正常にインストールされたことを示すページが開きます。

- 12 [終了] をクリックして、セットアップウィザードを終了します。Service ManagerヘルプサーバのLanguage Packのインストールは完了です。

索引

S

setup.exe, 12, 15

さ

サーバ

表示オプション, 10

サーバの Language Pack

必要な空き容量, 10, 11

ち

チェックリスト

Service Manager の Language Pack の
インストール, 8

へ

ヘルプサーバ, 9

ヘルプサーバの Language Pack, 13

